資料２

学びの当事者は子ども
～自他への信頼を培う学校を～

大日向小中学校　校長　久保礼子

2025年８月２1日 14:00~16:30
＠農業委員会会議室

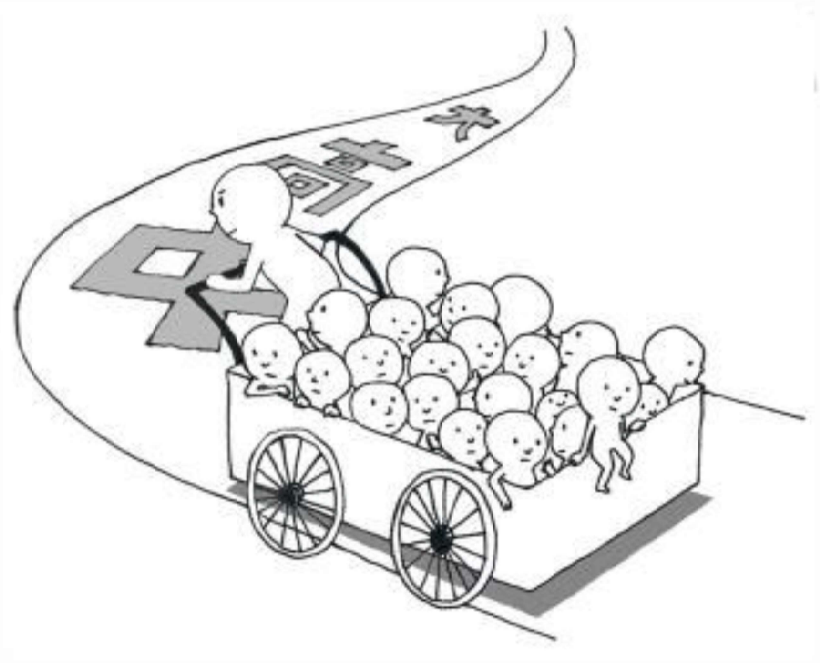
今日のおはなし

１．はじめに
２．現代の日本の教育状況
３．大日向小学校の実践紹介
４．主体性・多様性を尊重した学び

１．はじめに

- １９８１年　福岡県中学校教諭となる
- ２００７年　福岡教育大学大学院入学　（～2009年）
- ２００８年　オランダイエナプラン校訪問
  　イエナプラン教育専門教員養成短期研修参加
- ２０１０年　日本イエナプラン教育協会発足（任意団体）
- ２０１３年　退職
- ２０１４年　一般社団法人日本イエナプラン教育協会代表理事
- ２０１７年　日蘭アカデミーオランダ３ヶ月研修参加
- ２０１９年　日本初イエナプラン校大日向小学校開校　評議員
- ２０２２年　大日向小学校校長

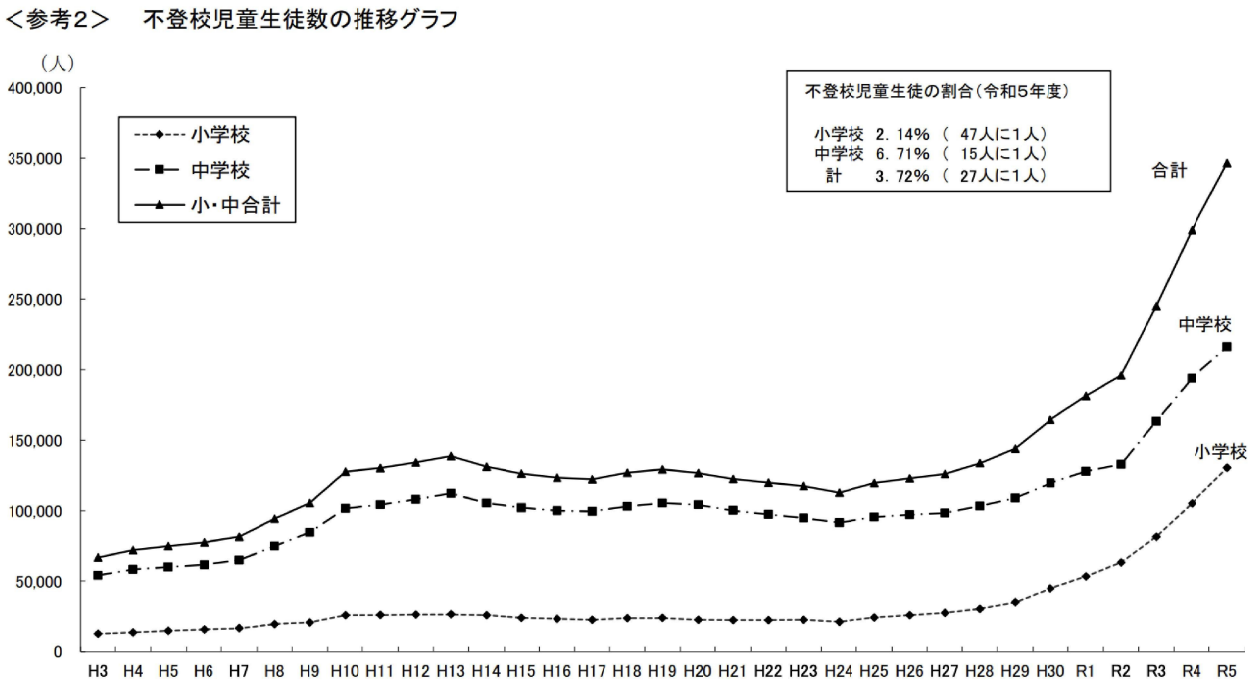
3



２．日本の教育状況

- 不登校児童生徒数　R5年度文科省調査
- 346,482人　3.7％

R5年度文部科学省調査



平成29年(2017年)改訂　学習指導要領前文

これからの学校には、、、
一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、
多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、
豊かな人生を切り拓き、
持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

３．大日向小学校の実践紹介

- 概要
- イエナプランとは
- イエナプラン校としての特徴

概要

長野県佐久穂町

中学校
生徒数
63人

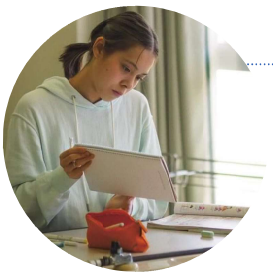
小学校
児童数
193人

標高895M
2011年廃校
2019年開校

東京から新幹線で1時間強
佐久平駅から車で30分強

建学の精神

誰もが豊かに
そして幸せに生きることの
できる世界をつくる



1 自立する

- 自分を知り、大切にする
- 他者との比較や競争ではなく、自分自身の進化に目を向ける
- 自分で学びの計画をたて、責任を持つ
- 自分の行動を振り返る

子どもたちは自分の得意なことや苦手なことを知り、その特性を大事にしながら努力することを学びます。他者との比較や競争ではなく、自分がどのくらい進化しているかに目を向け、その成長を評価します。そして何を、いつ、どのように学ぶのかを考え、その計画に責任をもつことの大切さを理解します。また、友だちや大人と一緒に話し合うことを通して、自分の行動を振り返ることを学びます。

2 共に生きる

- 人間は多様な存在であることを理解する
- 他者と協働することや助け合うことの大切さを学ぶ
- 誰もが自分らしくいられるよう、共存への責任を持つ

子どもたちは異年齢グループで活動しながら、人間は多様な存在であることを理解します。そして、共に生きるために他者と協働することや助け合うこと、誰もが自分らしくいられ、調和のとれた共同生活がおくれるよう対話的に進める大切さを学びます。また、自然や地域にも目を向け、視野を広げることで、共存への責任を学びます。

3 世界に目を向ける

- 自分の行動が世界に影響を与えることを理解する
- 社会の一員として周囲の環境を大切にし、責任をもって世界と関わる
- 自らの関心や問いから、自発的に行動する

子どもたちは日々の活動の中で、自分たちの行動が世界に影響を与えることを理解します。学校での学びは現実の世界と繋がっていることを知り、自分たちは社会の一員であることを実感することで、周囲の環境を大切にし、世界に対し責任を持って関わる大切さを学びます。そして、自らの関心や問いから、自発的に行動することを学びます。

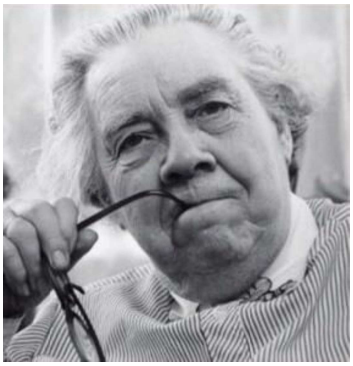
1920年代
創設

教育哲学者
14年間の現場経験
哲学・心理学・教育科学
理論と実践との密接な結合

ペーター・ペーターゼン
（1884~1952）

1960年代
オランダへ

教育改革「画一から個別へ」
個人差を認める。
発達・速さ・能力・ニーズ
の違いに応じた教育方法を



ｽｰｽ・ﾌﾛｲﾃﾞﾝﾀｰﾙ
（1908~1986）
8つのミニマム・20の原則

日本でも広く
知られるように

2004年「オランダの教育」
2006年「オランダの個別教育はなぜ成功したのか」

リヒテルズ直子

11

イエナプラン校としての特徴

①異年齢学級

②リビングルームとしての教室

③4つの活動からなる時間割

④評価

①異年齢学級

下学年 1・2年生
21人＊3

- たいよう
- そら
- ひまわり

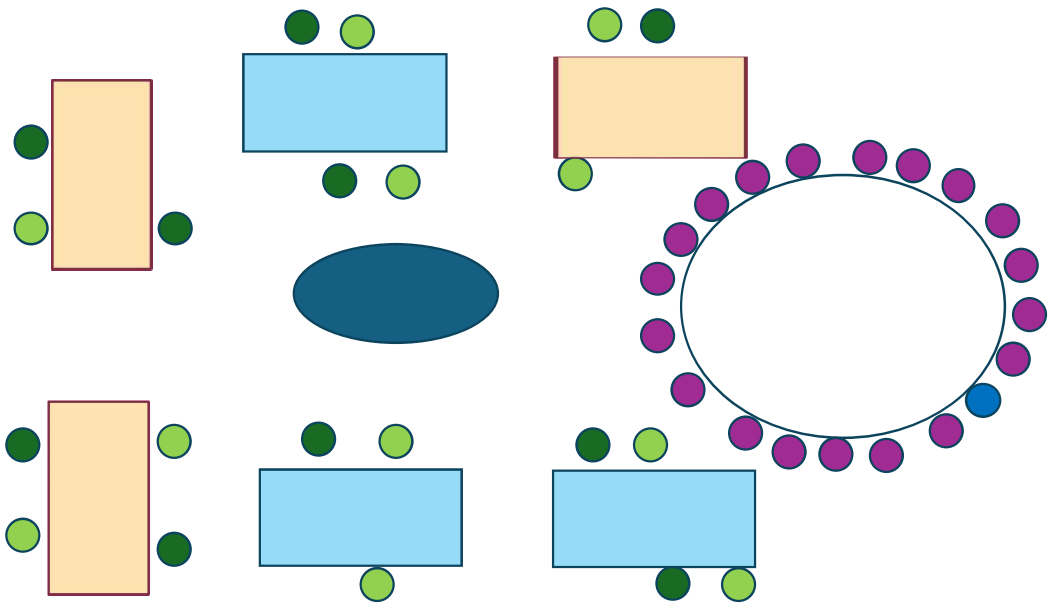
中学年 3・4年生
22人＊3

- きいろ
- あお
- みどり

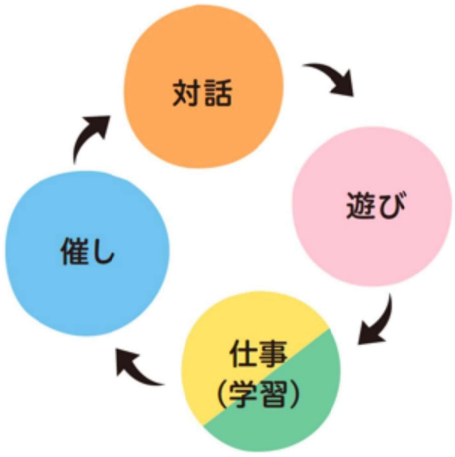
高学年 5・6年生
32人＊2

- ピンク
- みずいろ

②リビングルームとしての教室

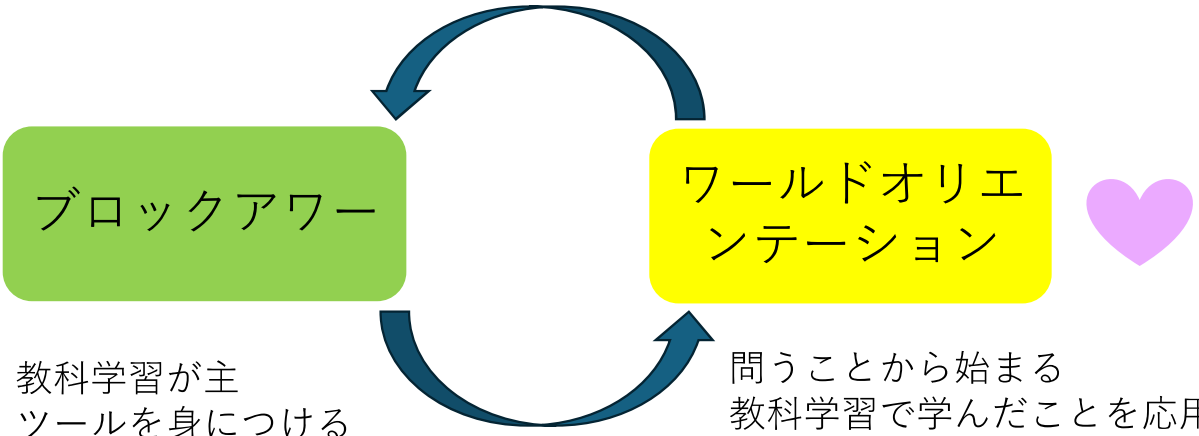


③4つの活動からなる時間割



	月	火	水	木	金
8:25	サークル				
8:40	ブロックアワー				
9:25	ブロックアワー				
10:10	遊び				
10:25	おやつ				
10:40	ブロックアワー				
11:25	ブロックアワー				
12:10	ランチ・昼休み				
13:00	ワールドオリエンテーション	クラブ・委員会等など	サークル	ワールドオリエンテーション	振り返り
13:45					催し
14:30	掃除			掃除	
14:45	サークル			サークル	
14:55	放課				

2．仕事



教科学習が主
ツールを身につける
自律的に学ぶ

問うことから始まる
教科学習で学んだことを応用する
協働的に学ぶ

スケジュール表

わたしのスケジュール　たいよう　2年　なまえ【　42

国語	読む 書く	よ❶「はち」天国についてしらせよう（ほうこく文）	よ❷ほうこく文サークル（国語ドリル㊳㊴）	算　数	さ❶さんすうワークp:54-57（まだの人）	さ❸たし算とひき算のひっ算テスト（まだの人）
	文字	も❶漢字テスト まとめ①②	も❷国語ドリル㊺㊻㊼		さ❷たし算とひき算のひっ算ミニテスト	さ❹けいさんのくふうp.50-53
		も❸漢字テスト⑤（まだのひと）				

		7/11 月	7/12 火	7/13 水	7/14 木	7/15 金
あさ	8:30	おやすみどうだった？	おんがくサークル	読み聞かせ	てつがくサークル	時事サークル
1	8:45 9:00 9:15	ほうこく文サークル（国語ドリル㊳㊴）		たいいく		
2	9:30 9:45 10:00			おんがく		たいいく
	10:15 10:30	やすみじかん10:15〜10:35　おやつ10:35〜10:45				
3	10:45 11:00 11:15	コンサートれんしゅうオッケイ（音楽室）	ずこう			
4	11:30 11:45 12:00	たいいく（そと）	ずこう		おんがく	今週どうだった？
	12:05 13:00	おひるごはん＆あそび				
5	13:15 13:30 13:45	🐝	🐝		リハーサル	ワールドオリエンテーション発表会
6	14:00 14:15 14:30	🐝	クラブ		チームでそうだん・れんしゅう	
そうじ かえり	14:45 15:10					

なまえ

かだい		ちぇっく
かく	1ねんせいさいしょの なまえをかこう ①きょうかしょ P17 ②ぷりんと	
はなす きく	じこしょうかいをかんがえよう	
さんすう	きょうかしょ P8、9	
さんすう	けいさんぐんぐん P4、5	

1年生

大日向小学校
こんしゅうのスケジュール

名前 [redacted]

	10/21 (月)		10/22 (火)		10/23 (水)		10/24 (木)		10/25 (金)	
	かだい	チェック	かだい	チェック	かだい	チェック	かだい	チェック	かだい	チェック
もじ			かんじドリル 23	✓	かんじドリル 24 25	✓	・かんじドリル 26 ・ノートに れんしゅう	✓	かくにんテスト 6 ・かんじのふく しゅうテスト	✓
よむ・はなす			しゅうまつの にっきをかこう	✓	おんどくあそび	✓	おんどくの れんしゅう	✓ 3かい	おんどくの れんしゅう	✓
かく			さっかのじかん	✓			(チャレンジ! もじのプリント)	✓	しょしゃタイム	
さんすう			プレテスト	✓			プリント	✓	テスト	✓
			・フラッシュ けいさん	✓			・フラッシュ けいさん	→ フラッシュ		
えいよう										
ふりかえり			きょうプレテストがおもしろかった。		かんじドリルがたのしかった		おんどくれんしゅうがろかいできてうれしかった。		かくにんテストがおもしろかったです	

1しゅうかんのふりかえり

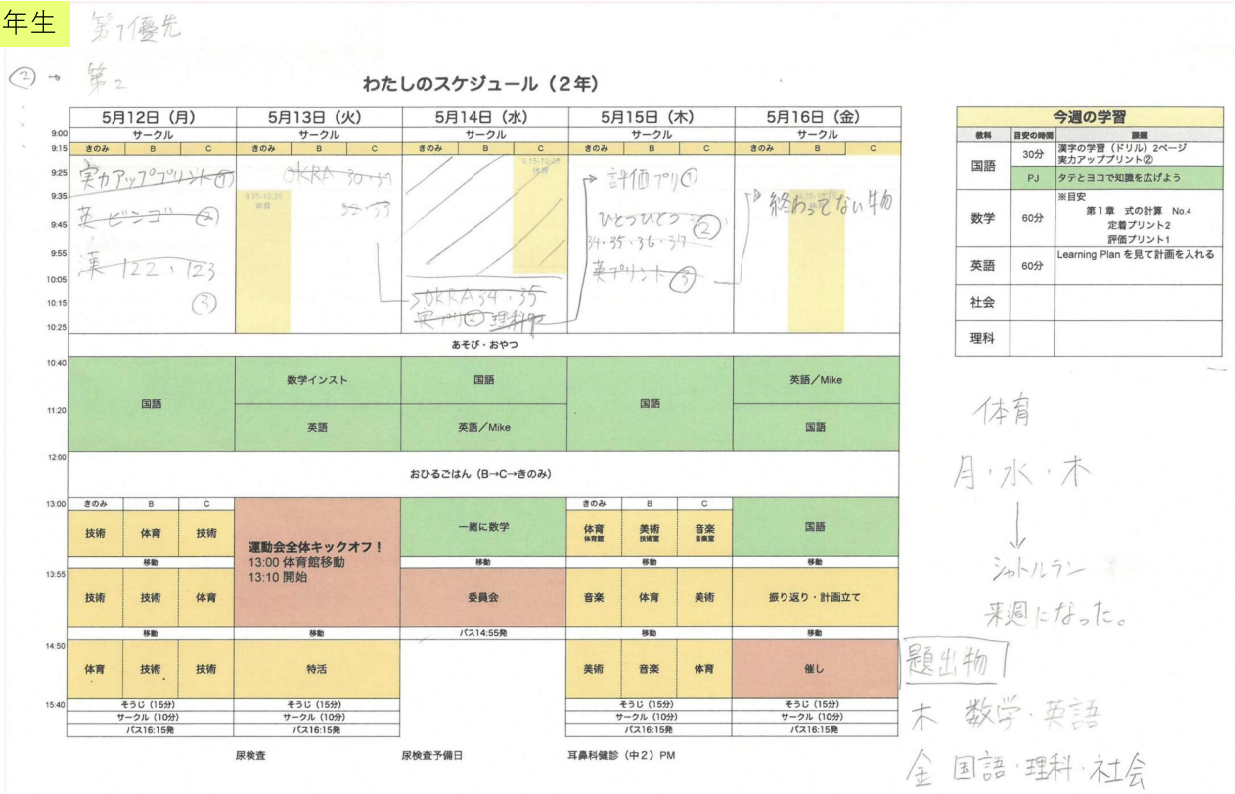
①けいかくどおりにすすんだか。 △ ○ ◎

②学びをじゅうじつさせられたか。 △ ○ ◎

できたこと、わかったことや、むずかしかったことを おしえて!

おんどくあそびができたのがうれしかった。

中学２年生



わたしのスケジュール（２年）

	5月12日（月）	5月13日（火）	5月14日（水）	5月15日（木）	5月16日（金）
9:00	サークル	サークル	サークル	サークル	サークル
9:15	きのみ / B / C	きのみ / B / C	きのみ / B / C	きのみ / B / C	きのみ / B / C
9:25	実力アッププリント①	SKRA 30・31		評価プリ①	
9:35	英ビンゴ②	9:35-10:25 体育	9:15-10:05 体育	ひとつひとつ② 34・35・36・37	終わってない物
9:45		文法		英プリント③	
9:55	漢 122・123				
10:05	③				
10:15			SUKRA 34・35 英プリ③ 理科		
10:25	あそび・おやつ				
10:40	国語	数学インスト / 英語	国語 / 英語／Mike	国語	英語／Mike / 国語
11:20					
12:00	おひるごはん（B→C→きのみ）				
13:00	きのみ / B / C	運動会全体キックオフ！ 13:00 体育館移動 13:10 開始	一斉に数学	きのみ / B / C	国語
	技術 / 体育 / 技術			体育（体育館） / 美術（技術室） / 音楽（音楽室）	
	移動	移動	移動	移動	移動
13:55	技術 / 技術 / 体育		委員会	音楽 / 体育 / 美術	振り返り・計画立て
	移動	移動	バス14:55発	移動	移動
14:50	体育 / 技術 / 技術	特活		美術 / 音楽 / 体育	催し
15:40	そうじ（15分）	そうじ（15分）		そうじ（15分）	そうじ（15分）
	サークル（10分）	サークル（10分）		サークル（10分）	サークル（10分）
	バス16:15発	バス16:15発		バス16:15発	バス16:15発
	尿検査		尿検査予備日	耳鼻科健診（中２）PM	

今週の学習		
教科	目安の時間	課題
国語	30分	漢字の学習（ドリル）2ページ 実力アッププリント②
	PJ	タテとヨコで知識を広げよう
数学	60分	※目安 第１章　式の計算　No.4 定着プリント2 評価プリント1
英語	60分	Learning Plan を見て計画を入れる
社会		
理科		

体育
月・水・木
↓
シャトルラン
来週になった。

題出物
木　数学・英語
金　国語・理科・社会

☆ ワールドオリエンテーション

★年間、７領域にわたってテーマを設定する

・めぐる1年・技術・コミュニケーション
・共に生きる・わたしの生・作ること、使うこと
・環境と地形

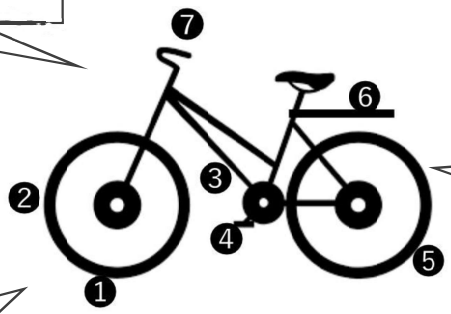
★探究のプロセスを大事にする

ヤンセンの自転車

④経験・発見・探究
・各々のやり方でアクティブに学ぶ
・深い学びへ
・グループリーダーはうまくいくようにサポートする。

③計画する
・マインドマップをつくり、目標を設定する。
・完成までの道のりの大まかな見通し
　どのように？　だれが何を？　いつまでに？
　どのように発表する？

⑤発表する
・催し
・みんなの学びとなる

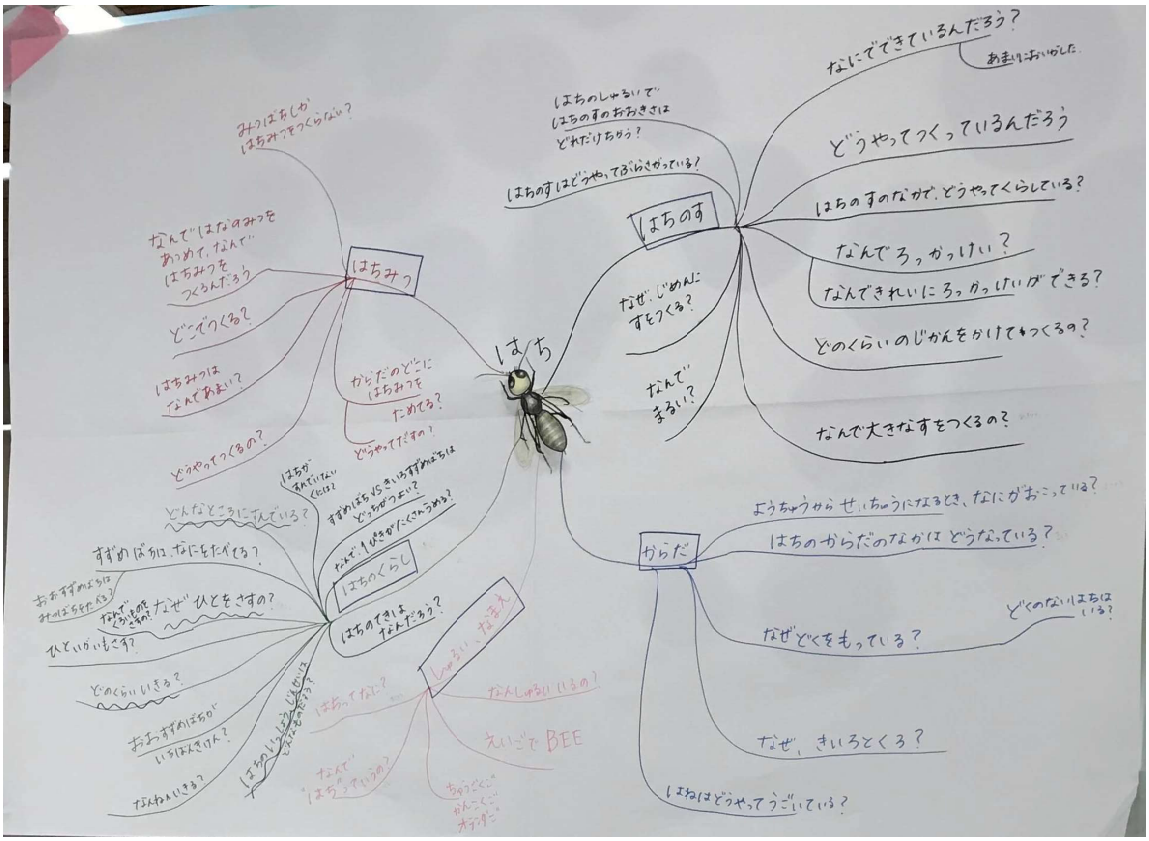


②問い出し
・たくさんの問いを集める

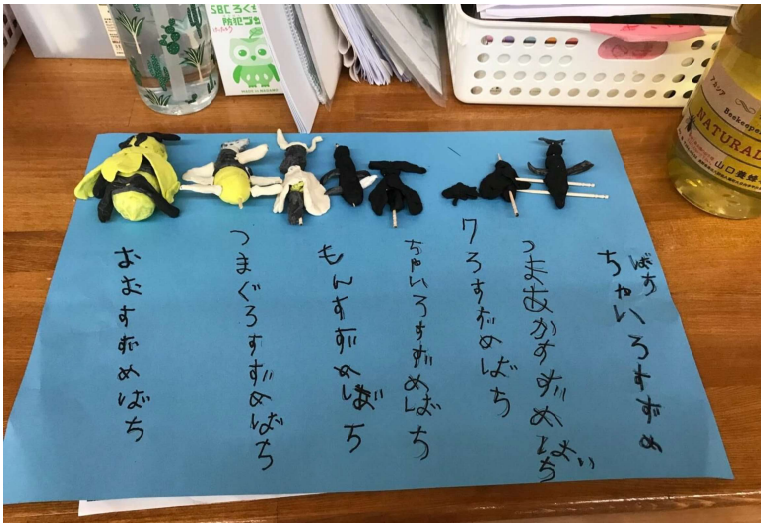
⑥記録・保管する
・ポートフォリオに
・発見したこと・学んだことを振り返る

①刺激する
・子どもたちが関心を持っていることから始める

⑦学習経験
・グループリーダーは、中核目標 / 学習指導要領に照らして整理・記録する
・子供が何を学んだか、次にどこに向かうか



例えば
こんな作品に



評　価

大日向小評価ポリシー　2019年作成

一人一人の子どもたちの成長のために行う。

他者と比較したり、序列化したりするためのものではなく、その子にとって望ましい発達をしているかを自分自身・教職員・保護者で確認し、その後の学びに役立てるためのもの。

イエナプラン20の原則19

学びの場（学校）では、子どもの行動や成績について評価をする時には、できるだけ、それぞれの子どもの成長の過程がどうであるかという観点から、また、それぞれの子ども自身と話し合いをするという形で行われます。

- 自己評価と他者評価を大事にする。
- 個人内評価を大事にする。
- 本人を交えた評価を行う。

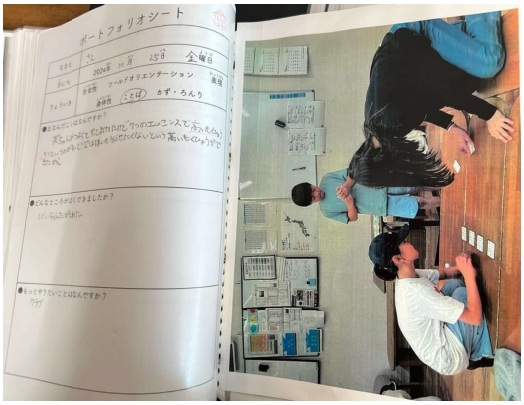
・ポートフォリオ

・日頃からのGLとのリフレクションやフィードバック

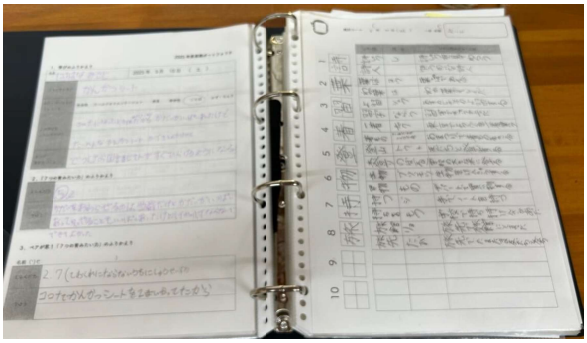
・わたしプレゼン

ポートフォリオ

毎週金曜日に振り返りをし、
ファイリングする



・１週間で一番頑張ったことや
　自慢に思うことを選ぶ
・どうしてそれを選んだのか
・もっと良くするとしたら？
・次はどんなことをしたいか



大日向小学校の通知表

【項　目】

社会性
ワールドオリエンテーション
身体的活動
表現活動
ことば
かず・論理

・文章表記
（目安200字～350字）

・数値による評定は
つけない

・年に２回

・評価材料
日々の活動記録
作品・プレゼン
テスト記録　など

A さん　【2023年度　後期】

社会性
大日向発表会実行委員に立候補しました。クラス全員に決まったことを伝えたり、あつまれタイムに出る子には個別に声をかけて確認したりと、責任をもって取り組む姿が印象的です。「学校セッション」では、大勢の人の前でマイクを持って、堂々と自分の考えを伝えることができ、かっこ良かったです。また、物事に熱中した時には、とことん取り組んで自分の力にしようと努力する姿が見られました。歌音ちゃんが「わからないなあ」と困っていると、何人もの友だちがすぐに助けに来るのですが、「ちょっと待って、自分でやってみるからね」と、穏やかに伝えてもう一度問題を読み始める姿を見て、歌音ちゃんの学びに一生懸命向かう姿勢に、すごい！と心でたくさん拍手をしていました。
ワールドオリエンテーション
おもちゃづくりでは、遠くにとばせるものをつくりたいという思いから、カタパルトを選んで作りました。どうすれば遠くに飛ばせるかを考えて、飛ばすものを変えてみたり、飛ばし方を考えたりと工夫していました。「どうぶつ好きのありすちゃん」では、モルモットチームで活動しました。モルモットの本を読んで、モルモットには遊び場所が必要なことに気づき、チームで協力して遊べるものを小屋の中につくっていました。他のチームの発表も聞き、他の動物の知識も深めていました。友達にインタビューした時には、自分と友達を比べて、同じ気持ちの人がいることに気づいていました。
表現
図工では、説明を聞くとすぐに「何作ろう」と意欲的に考えて、楽しんで作品作りをしています。「クレヨンと絵の具を使って絵を描こう」では、赤と緑のダイナミックな配色でのびのびと絵を描きました。楽器作りでは、紙コップの中に素材を入れてマラカスを作り、音に耳を澄ませて楽しそうでした。アイドルふくふくクラブで歌った「アイドル」は、[redacted]ちゃんの笑顔と弾むダンスが本当に可愛かったです。音楽では、体を自然に揺らしながら「世界中の子どもたちが」を歌ったり、オルガンを使って楽譜の中から自分で選んだ曲の演奏を練習したりと、いつも真剣に取り組んでいました。

２年後期

身体的活動
どの活動においてもやってみようという気持ちで取り組み、その中で自信をつけてとても楽しそうな表情で体を動かす姿がたくさん見られました。「リズム遊び」では、曲に合わせていろいろな障害物を片足や両足でジャンプする動きを楽しみました。とびばこでは台上前転に意欲的に取り組み、とてもきれいな回転を見せてくれました。大なわ跳びでは、なわを波やヘビなどいろいろな動きに見立てて、友だちと一緒に工夫しながら取り組みました。体育の発表「ショータイム」では、マット運動を選んで練習し、前回りを披露しました。勢いをつけて、上手に二回連続で回転しました。
ことば
漢字の学習では、難しいと思った漢字をノートにたくさん練習して、書けるように努力していました。「スーホの白い馬」では、辛い展開のお話を素直な気持ちで受け止めて、「どうしてだろう」「悲しいな」「かわいそうだな」と、心に浮かぶたくさんの思いを読み取りカードいっぱいに書くことができました。読書家の時間には、嬉しそうに図書館に足を運び、選んだ本の感想を、ノートに詳しく書き留めていました。お話の世界を楽しみ、友達と感想を共有することも上手です。「くじらぐも」では、一年生全員で音読劇をしました。手をつないで「天まで届け、１、２、３！」と、元気いっぱいジャンプしていました。
かず・ろんり
算数の学習に粘り強く取り組みました。難しい時には、友達やグループリーダーに聞いて、解決する様子がありました。難しい単元である「図をつかって考えよう」では、ドット図を見て、ドットの数と問題文に出てくる数字を照らし合わせて、図の意味を正しく理解することができました。問題によっては、追加の１を足すような複雑な問題もありましたが、図を見て正しく式を立てることができました。計算に繰り返し取り組み、力をつけています，時計の長針（分）を読むことはこれから練習していきましょうね。日常生活と結びつけることで、身につきやすくなりますよ。

わたしプレゼン

- 参加者：本人、保護者、GL、もう1人大人スタッフ
- 子どもが自分の学びをプレゼンテーションする
- ポートフォリオをもとに

- よく頑張ったこと
- 特に印象に残っていること
- 特に気づきが大きかったこと
- もう少し頑張るとすると？
- 次にやるとしたら

【意図・意義】

第３者に説明することで自己評価につながる

自分の学びを見つめる＝責任

対話的評価

４．主体性・多様性を尊重した学びとは

- 子どもの姿から
- 大人の在り方
- 学校ってなんだろう

【ブロックアワー】

難しさ
●良いインストラクション
●課題のあり方
●計画を立てる
●自らとりくむ
●集中して取り組む
●発展的な学び

課題
●内発的動機付け
●学力をどう見るか

育っている
●自分で学びの計画をたて、責任を持つ
●選ぶ、決める、動く
●自分の行動を振り返る
●他者との比較や競争ではなく、自分自身の進化に目を向ける

【ワールドオリエンテーション】

難しさ
●テーマの設定
●問いを立てる
●探究の質
●大人のスキル

課題
●探究の質
●大人のスキル

育っている
●問いを立てること
●質問できる
●自分の考えを言うこと
●発表すること
●協働すること
●共感すること
●地域の方やゲストなど本物から学ぶ
●今世界で起こっていることへの関心

【サークル対話】

難しさ
●全員が座るところから
●ファシリテーションスキル
●GLに向けて話すことになりがち

育っている姿
●自分の考えや気持ちを言う
●人の話を聞く
●皆で考えを深める
●自分の言葉で話す
●対話を通して解決する
●仲間意識

課題
●本当に聴けているか。
自分が言いたいことだけを言
っていないか。

大人たちの試行錯誤

日頃意識していること（スタッフへのアンケートから）

- ありのままを一度丸ごと受け入れる
- 予定通りに行かないことも楽しむ
- 考える余地のある問いかけをする
- 失敗も経験。できる限り口は出さない。プロセスを見守る。
- よく使う言葉は、「どうしたい？」「どう思う？」
- 一人の人間として自分らしくそこにいること
- 大声や叱責はいらない
- 関係はフラット。大人も子供も名前で呼び合う

どうする？

- 課題のタスク化
- やらされ感
- やったかやらないかの振り返り
- 自分ごと感がない

リフレクションによる変化

内発的動機付け

課題の意義
自分で決めることを広げる

時間の意義
自分で自分を成長させる時間

振り返りのガイド

・決めた計画にどう取り組んだか
・終わらなかったのはなぜだろう
・次どうするか

※全体にいい振りかえりを紹介する
※振り返りのオーナーシップはこども

学校ってなんだろう

ご清聴ありがとう
ございました

付録１

将来どんな政治的、経済的な状況が生じるか、私たちは誰も知らない。

未来は、人々の不満、利益追求、闘争、そして今の私たちには想像のできない新たな経済的、政治的、社会的状況によって決まるだろう。

けれども、たった一つ確信を持って言えることがある。

すべての厳しく険しい問題は、問題に取り組んでいこうとする人々がいて、彼らにその問題を乗り越えるだけの能力と覚悟があれば、解決されるだろう、ということを。

この人たちは、親切で、友好的で、互いに尊重する心を持ち、人を助ける心構えができており、自分に与えられた課題を一生懸命やろうとする意志を持ち、人の犠牲になる覚悟があり、真摯で、嘘がなく、自己中心的でない人々でなければならない。

そして、その人々の中に、不平を述べることなく、他の人よりもより一層働く覚悟のある者がいなくてはならないだろう。

（P・ペーターセン1927年）（訳：リヒテルズ直子）

付録２　ペーターセンの思想　玉川大学教育学部紀要　2016．PP49~67　佐久間裕之教授論文より

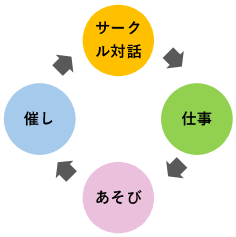
人間観・・・全人として必要とされる

教育観・・・共同体の中で自然に生じる作用

授業観・・・自然な仕方で子どもを学習活動にまで刺激する問題提起的な状況の世界

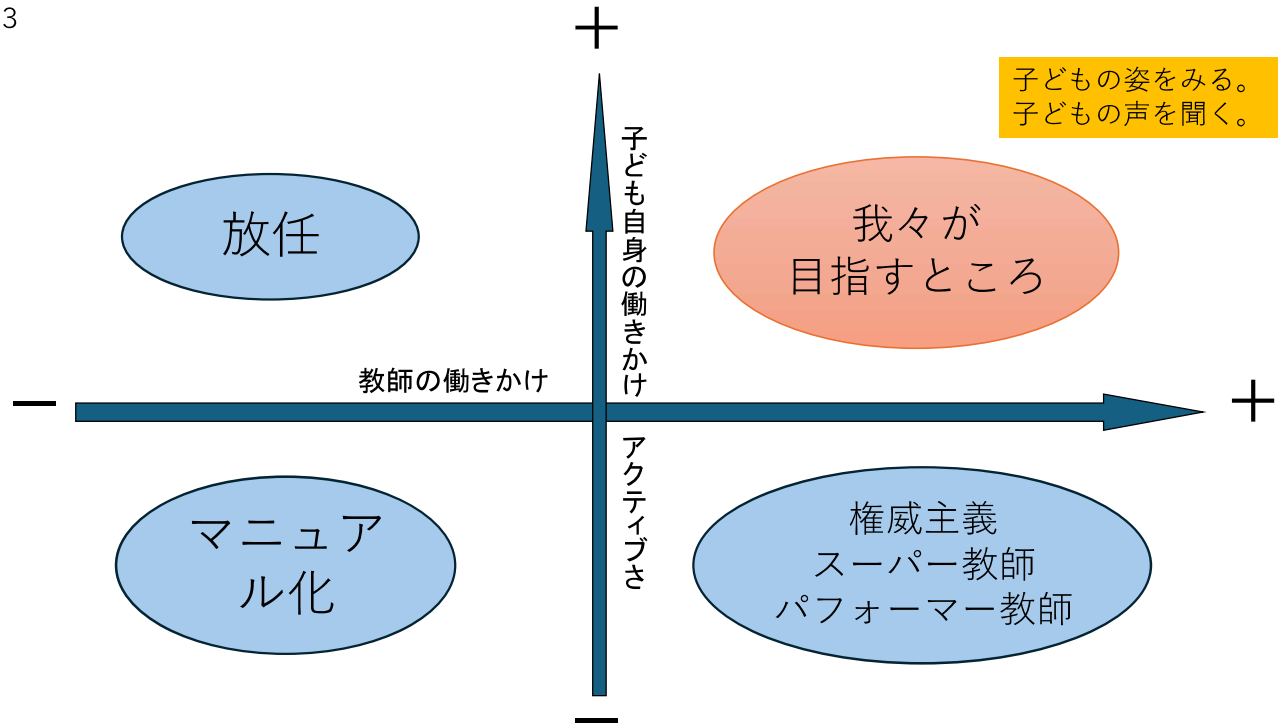
※行動にアプローチをするのではない

学校観・・・様々な個性が寄り集まり、共に生き、人格形成がなされる場所。多様性が重要



観をぶらさずに、目の前の子どもに問いかけ、具体的な方法をさぐり続ける営みを続けていく

付録３



2007．3．10　イエナプランシンポジューム　リヒテルズ直子氏講演資料より　44

付録４

私たちが望む理想的な人間像は、

（1）物事に自ら積極的に取り組み、〈起業精神〉
（2）計画を立てることができ、〈計画する〉
（3）他者と協力でき、〈協働する〉
（4）何かを生み出すことができ、〈生み出す〉
（5）それをプレゼンテーションでき、〈ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝする〉
（6）自分の努力について考えたり振り返ることができ、〈リフレクションをする〉
（7）責任を負うことができる、また負いたいと考えられる〈責任を持つ〉

付録５

７ × ７

7つのエッセンスの
それぞれの
７つの指標

起業精神	計画する	協働する	生み出す	プレゼンテーションする	リフレクションをする	責任をもつ
ネットワーキング	一定の期間がどのように進んでいくかを言える	他の人たちと分け合う	何か新しいことや新しい論拠を思いつく	クラスメートの前に立てる	何が起きたのかを言える	なぜ、自分がそれをしているのかを説明できる
イニシアチブを取る	自分が何をしなければならないかを言える	他の人に「考える時間」を与える	常に問いかけ続ける	自然で自分らしく行動できる	自分が何を学んだかを言える	自分で教材を取り出し片づけることができる
探究する	何かあることをするためにどれぐらい時間が必要かを推計できる	他の人の立場に立ってみる	何か替わりのアイデアを思いつく	聴衆とのコンタクトを取れる	フィードバックを受け止められる	自分のことを大切にし、集団のことも大切にできる
才能を使う	物事を手際良い順序で行える	説明に従ったり、説明を与えたりする	困難があっても諦めずに努力しやり遂げる	ジェスチャーを使える	フィードバックを与えられる	自分で誰かに説明を求めることができる
志を高くもつ	自分自身の学習目標を設定できる	他の人を助ける	自分自身のベストを尽くせる	はっきりとした言葉と声を使える	自分の行動を評価できる	自分が今夢中になっていることについてクラスの仲間に説明できる
目標意識をもって考える	１日の計画や１週間の計画を立てられる	人からの助けを受け取る	容易に他の発想に切り替えられる	自分の考えをうまく言葉で表せる	自分の仕事について自分で見直し評価できる	なぜ、自分たちはこのようなルールをもっているのかを説明できる
情報を探す	計画を手遅れにならないうちに修正できる	約束を守る	自分の発表やプレゼンテーションについてよく考えてうまく行える	自分の発表やプレゼンテーションをよく考えてうまく行える	自分自身の発達を人にプレゼンテーションできる	なぜ、あることをやらなかったのかの理由を説明できる

［表：イエナプラン教育の７つのエッセンス（水平）と７つの指標（垂直）］

付録６

8つのミニマム　　スース・フロイデンタール

１．インクルーシブな考え方を育てる
２．学校のあり方を人間的で民主的なものとする
３．　対話の重視
４．　教育の人間学化
５．　ホンモノ性
６．　自由
７．　批判的思考を育てる
８．　創造性

付録７

イエナプランにおける自由を考える

真の自由とは、様々な状況におけるもろもろの拘束の中で、
不断に判断したり、選択したり、自己決断していく**過程の自由**を意味する。
自己決断には責任が伴い、責任を伴うという拘束を含んで真の自由がある。

子どもの「**活動の自由**」を原則とする。
そのため、教室も子供が動きやすく整備されており、
子どもは自由に学習教材を選ぶために移動し、
ペアやグループなど自由に学習形態を変えるためにうごく。
そこには**集団としてのルール**がはたらいており、科目と静寂が守られる。

状況を把握でき、それぞれみんなが、周りの者みんなの真に尊敬すべき仲間だ
ということを真摯に受け入れることができるものとして人格が高まることは、
他者からの命令や規則や罰に縛られることのない、**自らの良心に従う自由を得る**こ
とになる

小さなイエナプラン抜粋